

NHK受信料制度等検討委員会
第11回会合 議事要旨

■ 日時

平成29年7月19日（水） 15:00～17:00

■ 場所

NHK放送センター 5階会議室

■ 出席者

【委員】（五十音順、敬称略）

安藤英義、鈴木秀美、山内弘隆、山野目章夫、山本隆司（5名）

【オブザーバー】（敬称略）

平松剛実（1名）

■ 議事次第

- 1 開会
- 2 諮問第1号「常時同時配信の負担のあり方について」資料説明および意見交換
- 3 諮問第2号「公平負担徹底のあり方について」資料説明および意見交換
- 4 諮問第3号「受信料体系のあり方について」資料説明および意見交換

■ 議事概要

- 1 諮問第1号「常時同時配信の負担のあり方について」資料説明および意見交換について

常時同時配信が実現した場合における負担のあり方について、事務局から意見募集に示した答申（案）概要に寄せられたご意見の報告があった。その後、意見交換が行われた。

意見交換においては、意見募集に寄せられたご意見に鑑み、答申において、視聴者・国民の理解や納得性、現行受信料制度との接合性等の観点から、より適切で分かりやすい説明とするための指摘があった。また、今後、NHKにおいて検討する際に重視すべき点についても明確にしておくべき等の意見があった。

- 2 諮問第2号「公平負担徹底のあり方について」資料説明および意見交換について

受信料の公平負担を徹底するための適切な制度整備のあり方について、これ

までの議論を踏まえ、海外の公共放送における制度面の取り組みを参照しながら、国内の諸制度との整合性、視聴者・国民の理解等の観点から説明があり、その後、意見交換が行われた。

意見交換においては、意見募集の募集や答申において、視聴者・国民や事業者にとって、公平負担が徹底されることの意義について、より明確に理解することができるようにすべき等の意見があった。

3 諮問第3号「受信料体系のあり方について」資料説明および意見交換について

世帯および事業所の契約のあり方、受信料免除のあり方等について、これまでの議論を踏まえ、視聴者・国民の理解・納得性、受信料負担の公平性、NHKが公共放送の使命を果たすために必要な財源の確保等の観点から、引き続き意見交換が行われた。

意見交換においては、意見募集の募集や答申において、より分かりやすい内容となるよう、言葉の定義や表現についても留意すべき等の意見があった。

4 次回日程について

第12回会合は7月27日（木）16時00分から。